

競技上の注意

第90回全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）

審判長 伊庭 洋子

本大会は、令和2年6月1日一部改定の「日本卓球ルール」及び「日本学生卓球連盟事業実施 細則」を適用して実施する。全試合を5ゲームスマッチ、3ゲーム先取にて行う。

1. ボール、ラバー、ラケット等について

- ◎ ボールは公認された「白・スリースター」40mm ボール(VICTAS 製・VP40+)を使用する。各チームは「ボール選択所」で3球選んで主審に渡すこと。
- ◎ ラバーは、ITTF または JTTA が公認したロゴがなければ使用できない。
- ◎ 外国製ラケットで JTTAA のマークのないものを使用する場合は、試合開始60分前までに「ラケット使用許可願い」を審判長に提出し、許可を受けること。
- ◎ ゲーム中にラケットを誤って破損した場合は、持ち込んであったスペアラケットかプレー領域内で手渡されたものと交換し、すぐプレーをしなければならない。

2. ラケットコントロールについて

- ◎ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして JTTA が公認した接着剤のみを用いて行うものとする。
- ◎ ラバーの張替えは、定められた「ラバー張替え所」で行うこと。
- ◎ ラケットコントロール検査を、マッチ前に ITTF、JTTA 公認の検査器を用いて、無作為に実施する。提出されなかった場合はマッチ後に行う。
- ◎ 全ての競技者には、希望すれば、マッチ前にペナルティーの科せられないボランティア検査（自主検査）を受ける権利が与えられている。

3. 競技服装について

- ◎ 競技服装(シャツ、ショーツ・スカート)は JTTA の公認マークのついているものを着用すること。
- ◎ 団体戦に出場するチームの全競技者は靴および靴下、服装についている広告の数、大きさ、色およびデザインを除いて、同じ服装で競技しなければならない。
- ◎ 同じ服装による対戦を避けるため、色・柄の異なった2種類以上の服装を用意すること。
- ◎ 本年度の日本卓球協会指定のゼッケンを着用すること。

4. タイムアウトについて

- ◎ 競技者は1マッチを通じて、1分以内の「タイムアウト」を1回要求することができる。
- ◎ 団体戦においては、競技者、組または監督が要求できる。要求が異なる場合、監督の要求が優先される。
- ◎ 相手タイムアウト終了後、まだタイムアウトをとっていない競技者は、続けてタイムアウトを要求することができる。
- ◎ タイムアウトを要求した競技者または組が競技を再開する旨申し出たとき、または1分経過したとき(どちらか早い方)競技を再開しなければならない。

5. 抗議、アドバイスについて

- ◎ 団体戦の抗議は、問題が生じたチームの監督のみが行うことができる。主審または副審による事実の判定に対して抗議することはできない。
- ◎ 団体戦において、競技者はベンチにいる誰からもアドバイスを受けることができる。また、それによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
- ◎ アドバイスの違反行為は、最初はイエローカードで警告、2回目は警告を受けた者かどうかにかわらず、レッドカードで競技領域外に退場になる。

6.バッドマナーについて

- ◎ 観客に不快感を与えたり、相手選手をいらいらさせるような行為、あるいはテーブル、ネット、フェンスなどの器具を乱暴に扱うような行為、競技役員の指示を無視するなどの行為が含まれる。
- ◎ ポイントが決定した後は、速やかに次のサービス体勢、あるいはレシーブ体勢をとり、みだりに時間をとるようなことなく、競技のスピードアップをはかること。ただちにサービスを出さない、あるいはすぐにレシーブの構えに入らないような行為は「スロープレー」としてバッドマナーと判断し処置する。
- ◎ 競技者によるバッドマナーに対しては、最初はイエローカードによる警告がなされるが、2回目以降は種類の異なるバッドマナーであっても、相手に得点(2回目は1点、3回目は2点)あるいは失格を含むペナルティーが課せられる。
- ◎ 競技者が犯したバッドマナーに対する警告及びペナルティーのレベルは、同じ団体戦においてその競技者の次の個人戦(シングルスまたはダブルス)に引き継がれる。

7.促進ルールについて

- ◎ 両方の競技者または組から要請があった場合、およびゲーム開始後10分経過した場合に適用されます。ただし、両方の競技者または組のポイントスコアの合計が、少なくとも18ポイントに達した場合には、促進ルールは適用されない。

8.幕、旗の掲示

- ◎ 横幕はタテ1m×ヨコ4mを最大寸法とし、文字の高さ15cm以上25cm以内のクラブ名(卓球部名)を入れるものとする。
- ◎ 校旗、部旗はタテ1.5m×ヨコ2m以内とし、校章、社章またはシンボルマークは中央に入れ、タテかヨコ表示のクラブ名(卓球部名)を入れるものとする。
- ◎ 縦幕は原則として許可しない。また前項の旗を縦に長くして掲示することはできない。

9.その他

- ◎ フロア内でのカメラ、ビデオ撮影は「報道」と許可された場合と、チーム選手のプレーを撮影するためのビデオカメラは1台のみが認められる。
- ◎ 試合終了後、対戦両監督は、記録用紙に署名を必ずすること。
- ◎ ドリンク等がこぼれた場合は責任をもって拭いて退場すること。
- ◎ 男女ベスト4までに入られた大学は、必ず閉会式に出席すること。
- ◎ この大会はすべて学生が準備・運営等を行うため、大会期間中はご協力よろしく申し上げます。
- ◎ 審判長ならびに副審判長は本部席におりますので用事がある場合は本部席までお越しく下さい。

進行上の注意

1. ベンチと進行について

※ベンチについては、番号の若い大学が中央通路側になります。

※試合はタイムテーブルに従って進めますが、進行の都合で時間がずれたり、コートを変更したりすることがありますので、掲示・放送等に充分注意してください。進行の都合により、大幅に遅れるようなことがあれば、T・2番、4・L番を2台進行で行うこともあります。

2. オーダーについて

※本大会のオーダー交換は Web 上で行います。

※オーダー交換責任者のメールアドレスは事前に連絡いただいておりますが、特別な理由があり変更しなければならない場合は早めに本部席までご連絡ください。

3. オーダー提出の流れについて

※試合開始時刻の1時間前にオーダー交換責任者にメールにてオーダー交換用の URL をお送りします。メールが届いてから10分以内にオーダーを確定し送信してください。その後、確認メールが届くので間違いがないか確認し試合開始40分前までに確定ボタンを押してください。両大学のオーダーが確定するとオーダー交換責任者に確定したオーダーが連絡されます。またその時点でホームページにもオーダーが掲載されます。

4. 選球・着用シャツの色の確認について

選球と着用シャツの色の確認を行いますので、試合開始30分前に選球場へお越しく下さい。

着用シャツの色が被った場合は、着替えて頂きます。

(30分前に両校選手がそろっていない場合は後から来た大学に着替えて頂きます。)

5. 決勝トーナメント組合せ方法

決勝トーナメント組合せ方法は、日本学生卓球連盟事業実施細則通りです。

6. 受付時間、練習時間について

事前の資料で指定した受付時間、練習時間を厳守してください。